

県議員 奥村のり子 の しんぶん 赤旗 講者ニュース

2013年1月20日 第69号

—奥村のり子生活相談所—

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11

電話&FAX 073-427-7121



少し遅くなりましたが、私の12月議会での一般質問の報告です。救急医療体制や介護保険法改定の影響、県営住宅の家賃問題を取り上げました。県内では毎日平均26人の救急患者が搬送されています。救急医療体制の充実は県民の安心に直結するものです。医師看護師の増員と学童保育の充実など看護師が安心して働ける環境整備の強化を求めました。

また、介護保険法の改定や介護報酬改定などにより保険料が大幅に上っている今年もがんばります。（のり）

医療行為である痰の吸引などが介護職の業務として「法制化」された問題で、必要な研修を保障するように県営住宅建て替えに伴う家賃の値上がりで特に高齢者の方などが住み続けられない問題が起っています。家賃減免制度の拡充を求めていました。

“3本の折れた矢”で デフレ不況打開なんて

志位委員長の発言に胸がスカッ

最近、テレビで語る「アベノミクス」という造語に辟易です。要するに安倍首相の経済政策で、「金融緩和」、「大型公共事業」のバラマキ、「成長戦略」の3本の矢でデフレ不況を開拓すると言うのです。しかし、先週の日曜日（13日）NHKの党首インタビューに登場した共産党志位和夫委員長は「3本の矢」と言うが“折れた矢”を3つ並べただけ」と語ったことで胸がスッとした。「金融緩和」はこれまで散々やつてきたが効果がなかった、大型公共事業は経済成長につながらず残ったのは借金の山、「成長戦略」は貧困と格差を広げ破たんした小泉「構造改革」の焼き直しという“折れた矢”だと指摘。

そして本当のデフレ不況脱却には消費税増税中止、大企業の身勝手なリストラ、賃下げをやめ、雇用のルールを守り働く人の所得を増やす政策へ転換することだとズバリ。14日の日刊赤旗で全文掲載されました。版読者の皆様には、今週の日曜版に掲載され

1月18日 市駅前早朝宣伝、地域・団体訪問、会議
19日 岩出市議選、学習
20日 岩出市議選出発式、河西後援会総会、日中友好協会和歌山支部総会
21日 岩出市議選、地域・団体訪問
23日 県議国会議

24日 無料生活相談日、体操教室



（主なもの）

党市議会議員

南畠幸代



高すぎる学費、給付制奨学金制度の実現を



学費無償化など訴える南畠さちよです

としている、高すぎる大学などの学費無償化、返済不要の給付制奨学金の実現の署名やアンケートのお願いをしました。「はい、私は働くいているけど署名します。」と快く署名して下さる方や「国籍は日本ではないので」と言われる晴れ着姿の女性に、「せっかくですので話を聞かせて下さい」とお願意する、「今はタイの国際文化を学ぶ学校に通っていますが日本よりも安い学費です」「次はア

日本ではないので」と聞かれる晴れ着姿の女性に、「せっかくですので話を聞かせて下さい」とお願意する、「今はタイの国際文化を学ぶ学校に通っていますが日本よりも安い学費です」「次はア



学費の工面は大変でした。息子は今も奨学金を返済しています。○

ECO（経済協力開発機構）加盟30カ国で授業料が有料で給付制奨学金がないのは日本だけです。学びを支える社会の実現は政治の責任です。

若い方と話が出来たことがとても嬉しく、「」の署名がさらに広が

12月
県議会

救急医療、介護保険改定 県住家賃など質問しました

ほのぼのスナップです

91歳お誕生日と新年会

雑賀北の地区のみなさんです。お正月に91歳を迎えた坂口平夫さん（前列右から2人目）を囲んでお茶菓子で新年会です。安心して住み続けられる街づくりをめざして夏の参議院選挙をがんばろうと誓い合いま

